吉川市協働事業評価シート_2021.ver1.3

3-1

提出日	令和7年4月 15日	
記入者	団体等名	NPO 法人たすけあい・よしかわ
	記入者名	代表理事 野田 妙子
	部署名	健康長寿部 長寿支援課
	記入者名	近藤

1｜協働事業の概要

協働事業名	老人福祉センター運営事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人たすけあい・よしかわ
	行 政	健康長寿部長寿支援課
事業の目的及び目標値	本事業は、老人福祉センターの指定管理者として施設の管理をするとともに、高齢者に対して各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの供与などの運営をすることを目的とする。	
事業の内容	老人福祉センターは高齢者の教養の向上、健康の保持増進、社会参加の拡大、いきがいづくりなどを目的に設置された施設である。平成18年度から吉川市連合長寿会が指定管理者として運営していたが、令和2年度よりNPO 法人たすけあい・よしかわが指定管理者となっている。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	1 施設利用状況 令和6年度利用者数:22，312名 利用団体数:523団体 2 寄り日開催状況 令和6年度クラブ数:109団体 参加人数:1，276名 3 自主事業 ぱれっとサロンなないろ 回数:49回 参加人数:2，001名 シニア卓球くらぶ 回数:94回 参加人数:1，351名 ぱれっとシアター 回数: 2回 参加人数: 77名 スマホ教室 回数:12回 参加人数: 29名	
協働事業決算	総額 29,574,000 円（うち市負担分 29,574,000 円）	
	簡単な内訳	委託料
実施期間	令和6年 4月 1日 から 令和7 年 3 月 31日 まで	
協働の形態	□共催 ■委託 □補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1 枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：　令和７年　４月　７日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、それぞれの立場からどのような良かった点や課題（共有・認識の差等）を相手へ伝えましたか。（記述式） 【団体⇒行政】 施設利用者数は戻っているが、引き続き感染症予防を行う。各種自主事業に工夫を凝らし、利用者から好評を得ている。地域に開かれた施設として、誰もが気軽に参加できる斬新な企画の自主事業を引き続き実施していく。 【行政⇒団体】 引き続き、センターの活性化に努め、利用者の拡大と満足度の向上に努めてほしい。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合いましたか。（記述式） 【団体】 今後も利用者のニーズを見極め、求められる自主事業を検討・展開し、新規の利用者を増やしていきたい。 【行政】 高齢者の憩いの場、活動・活躍の場として、誰もが利用しやすい施設となるよう、行政として協力していきたい。また、連合長寿会の事務局として、引き続きサポートをお願いしたい。		

吉川市協働事業評価シート_2021.ver1.3

3-2

提出日	令和7年5月8日	
記入者	団体等名	吉川市コミュニティ協議会
	記入者名	石井　亮英
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	渡辺　滉大

1｜協働事業の概要

協働事業名	コミュニティ協議会事業	
事業の実施者	団体等	吉川市コミュニティ協議会
	行　政	市民参加推進課
事業の目的及び目標値	吉川市におけるコミュニティづくりを推進し、活力ある人間性豊かなまちづくりの実現を目指す。	
事業の内容	①夏休み期間、市内公共施設に児童、幼児を対象としたクイズを配置し、施設内を探検しながら配置されたクイズに答えていくクイズラリーを実施。 ②過去の悲惨な戦争を振り返り、平和について改めて考える機会を提供するとともに、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的として、小中学生を主な対象とした平和バスツアーを実施。	
事業の実績（実施回数、参加者数など）	令和6年度実績 ①クイズラリー ・応募総数　697人　・期間　7月20日（土）から8月26日（月）まで ・開催場所　市民交流センターおあしす、児童館ワンダーランド ②平和バスツアー ・参加者22名（大人9名、子ども13名）　・実施日　7月31日（水） ・行先　予科練平和記念館（茨城県稲敷郡阿見町）	
協働事業決算	総額　124，415　円　（うち市負担分　124，415　円）	
	簡単な内訳	クイズラリー　110，815円　　平和バスツアー　13，600円
実施期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日　まで	
協働の形態	☑共催　　□委託　　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

③ふり返り段階

話し合いをした日：令和６年６月１２日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、それぞれの立場からどのような良かった点や課題（共有・認識の差等）を相手へ伝えましたか。（記述式） 【団体⇒行政】 クイズラリー事業は、吉川市内の子どもたちに吉川市のことをもっと知ってもらうことができるよい事業であり、景品を協賛してくれる会社については、よいPRの場にもなると考えている。今後は、吉川市コミュニティ協議会のメンバーが実施しているイベント内で一緒にクイズラリー事業を実施していきたい。 【行政⇒団体】 クイズラリー事業は、吉川市内の全ての子供たちが好きなタイミングで遊ぶことができる良い事業であり、クイズを吉川市に関係する内容にしたり、景品を吉川市内の業者にしたりと、吉川をPRできる事業でもある。今後も、パワーアップしながら事業を継続して行いたい。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合いましたか。（記述式） 記入者【　団体　・　(行政)　】 吉川市コミュニティ協議会のメンバーと話し合い、吉川市内の他業者に協力を依頼することで、新たなコミュニティづくりを図っていく。また、夏休み期間に吉川市コミュニティ協議会メンバーの開催するイベント会場でクイズラリー事業を追加で実施し、コミュニティ促進を図る。		

吉川市協働事業評価シート_2021.ver1.3

3-3

提出日	令和7年4月16日	
記入者	団体等名	指定管理者 OIT グループ
	記入者名	新井　真哉・竹林　聡
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	上谷直也

1｜協働事業の概要

協働事業名	市民交流センターおあしす指定管理者事業	
事業の実施者	団体等	指定管理者OITグループ
	行政	教育委員会生涯学習課
事業の目的及び目標値	市民交流センターおあしす、市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室の管理運営に関し、指定管理者による適切な業務が遂行されるよう管理監督を行う。	
事業の内容	市民交流センターおあしすや市立図書館をはじめとする各図書室の運営と管理を行うとともに、おあしす運営協議会や図書館協議会を開催する。また、利用者に対する満足度調査を行う。	
事業の実績 （実施回数、参加者数など）	（令和6年度実績） おあしす利用実績　　利用件数:7，187件、利用人数:87，977名 市内図書館（室）利用実績　貸出冊数:407，444冊、利用人数:96，524名、 市立図書館入館者数:178，535名	
協働事業決算	総額　248，147，054円（うち市負担分　248，147，054円）	
	簡単な内訳	施設管理業務委託料　248，147，054円
実施期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日　まで	
協働の形態	□共催　☑委託　□補助	

2｜協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、１枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

ふり返り段階

話し合いをした日：令和７年３月２６日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、それぞれの立場からどのような良かった点や課題（共有・認識の差等）を相手へ伝えましたか。（記述式） 【団体⇒行政】 おあしす運営協議会、図書館協議会、利用者満足度調査に於いて、施設管理、運営についての課題を共有し、課題解決に向けた施策内容について、生涯学習課より適宜アドバイスを戴きながら検討、実行した点は良かった。更に、施策の進捗状況を、定例会で報告し情報共有を図る事ができた。 【行政⇒団体】 施設管理、利用者対応について定例的なものは月に1回、その他必要に応じて都度話し合いの上、課題を共有・解決し、市民の為によりよい施設運営となるよう力をあわせた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合いましたか。（記述式） 記入者【 団体 ・ 行政 】 指定管理第4期（R7．4～R12．3）のスタートに向け、独自事業の内容、スケジュール、自主事業の定義、報告様式などについて話し合った。		